

令和 6 年 7 月 23 日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会  
会長 平田 富士男

## 西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和 6 年 7 月 10 日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第 7 条第 2 項に基づき、本審議会の意見として提出します。

## 記

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇ジュニア陸上クラブ	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業	420,000円 (300,000円)	300,000円 (357,200円)	71.4
西脇市美術協会	アートフェスティバルにしわき '24 事業	550,000円 (300,000円)	300,000円 (550,000円)	54.5
ママのおへソスクール	ママのための頑張らない学校事業	389,000円 (257,000円)	257,000円 (389,000円)	66.1
Hot Spot 実行委員	Hot Spot 事業	432,000円 (300,000円)	300,000円 (377,000円)	69.4
自然探索グループ	稀少蝶の保護、『蝶の庭』活動事業	158,000円 (150,000円)	150,000円 (158,000円)	94.9
猫の会	野良猫の減少と里親に繋げる保護猫事業	210,000円 (210,000円)	210,000円 (210,000円)	100.0
ミモザのたね	ゆずりっこ事業	320,000円 (300,000円)	300,000円 (320,000円)	93.8

合 計	2,479,000円 (1,817,000円)	1,817,000円 (2,361,200円)	—
-----	----------------------------	----------------------------	---

1. 採択団体（7団体）

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
I W A 兵庫ポニー	西脇中学硬式野球 の環境づくり事業	462,605円 (300,000円)	継続審査	

市民提案型まちづくり事業審査に係る意見（令和6年度申請）

団体名	意見
ママのおへソスクール	市内の参加者が増えるよう周知方法等を工夫すること。
猫の会	事業について多くの市民に理解が得られるよう行政と連携して活動を進めること。

令和 6 年 7 月 31 日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会  
会長 平田 富士男

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和 6 年 7 月 24 日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第 7 条第 2 項に基づき、本審議会の意見として提出します。

記

1. 採択団体（1 団体）

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
I W A 兵庫ポニー	西脇中学硬式野球 の環境づくり事業	462,605円 (300,000円)	240,000円 (340,320円)	51.9%
合 計		462,605円 (300,000円)	240,000円 (340,320円)	—

※ 団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

市民提案型まちづくり事業審査に係る意見（令和6年度申請）

団体名	意見
I W A 兵庫ポニー	青少年の健全育成につながるよう取組内容及び指導方法に留意すること。

**西脇ジュニア陸上クラブ**  
代表 藤本 佳奈 (会員 6名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 420,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 357,200
③	事業名	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業					
④	事業目的	陸上競技の指導練習や記録会を通して子どもたちの自己実現につなげ、学校、学年、障害の有無などを超えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成につなげます。 また、子どもたちが陸上競技に触れるきっかけを作り、未来の活躍に向けて人材育成を行うとともに、地域のスポーツ文化を活性化し、スポーツによるまちづくりの一つとして「ジュニア陸上クラブ」を定着させ、ひいては地域の活性化につなげます。					
⑤	事業内容	月2回の土曜日の午前中に、都麻の郷交流グラウンドにおいて、陸上競技の指導者を招き、陸上競技の正しい知識、基本技術、スポーツのマナーなどの習得をします。 また、子どもたちが練習の成果を披露するとともに自分の記録更新に挑戦し、自己実現につなげる場とするため、保護者や地域の方などを招き、記録会や「岩谷産業陸上競技部による一日陸上教室」を開催予定です。					
⑥	事業効果	子どもたちがスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげたいと考えています。 また、子どもたちが学校や地域を超えて、仲間づくりや交流する中で、保護者を含めた新たな地域コミュニティが生まれることが期待できると考えています。					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来の陸上クラブは専門性を高めるため、参加人数の制限や経験者が集まりやすい傾向がありますが、本クラブの目的は「陸上初心者を集めることで裾野を広げること」としており、昨年度は、市内の7小学校に加え、丹波市の小学校3校、兵教大学付属小学校からの参加もあり、概ね60名近くの子どもの集めることができています。</li> <li>・ 毎回、指導を受けながら基本練習を行い、継続的に個人記録を測定することで、練習の成果が数字として現れており、子どもたちの自信にもつながり、陸上競技の楽しさを学ぶことができています。その結果として、子どもたちの意志により、各種競技会に積極的に参加することになり、400mリレーでは、兵庫県リレーカーニバル8位、北播小学生陸上競技記録会3位、60m個人では、日本室内陸上競技大阪大会（全国大会）への出場を果たしました。</li> <li>・ これまでは、市内に陸上競技クラブがなかったので、丹波市や加東市で学んでいた子どもたちが、市内で学べるようになり、多くの保護者に喜んでもらっています。</li> <li>・ 一方、競技大会の活躍などを通じて、丹波市の子どもたちが入会することになり、丹波市の保護者と市内の保護者の交流が深まったり、市内で食事や買物されるなど、関係人口の増加につながっています。</li> <li>・ また、「働き方改革」や「少子化」などにより、学校から各種競技会にエントリーできない子どもたちの「受け皿」ともなっています。</li> </ul>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業を継続的に運営するためには、「会員の中から指導者を育成すること」、「陸上競技の用具を整えるための初期費用を確保すること」が設立当時の課題でした。</li> <li>・ 指導者の育成に関しては、会員の中から「部活動指導員」として選任される会員も現れています。また、子どもたちの保護者からの手助けに加え、昨年からは、西脇中学校と西脇工業高校の卒業生で、全国レベルの実績を残されている陸上競技経験者2人にも臨時的なボランティアコーチとして協力を得ることになりました。</li> <li>・ 陸上競技の用具を整える初期費用に関しては、「本まちづくり事業」からスタートアップの補助を受けることで、最低限の用具は整えることができました。</li> <li>・ さらに、今年度からは、指導者を一人とし、会員が指導に当たる機会を増やします。また、指導者の監修を受けながら「練習メニュー」（冊子）の作成を行い、次年度からは、クラブの資金だけで、継続的な運営を行っていきます。そして、スポーツによるまちづくり事業として「西脇ジュニア陸上クラブ」を定着させ、ひいては地域コミュニティの活性化につなげていきます。</li> </ul>					

西脇市美術協会

代表 藤原 廣幸 (会員61名)

①	事業種類	対象地域	市内全域	実施期間	6.5.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 550,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額 ¥ 550,000
③	事業名	アートフェスティバルにしわき '24				
④	事業目的	<p>昨年度に引き続き、現代社会における多様な課題に対応できる地域・人材を育成し、文化の香るまちづくりに寄与する目的をもって、アートフェスティバルを開催する。</p> <p>今年度も地域の文化や伝統と現代アートを融合させる意味で様々な団体や市民と交流する。会員だけでなく賛同出品の方々と協力して展示する。そのことにより若い世代にも文化を継承していきたい。</p>				
⑤	事業内容	<p>事業対象は、市内全域、芸術を愛好するすべての西脇市民とする。市内の小・中・高等学校及びこども園等にも、フェスティバル参加を呼び掛けたい。</p> <p>テーマは 「アートでつなぐ心と心・市民とともに」とし 「アートフェスティバルにしわき '24」を2024/11/6～2024/11/10に実施する。</p> <p>主たる会場は、西脇市総合市民センターとし、日常と違うアート空間を演出したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の作品展もテーマを持った作品展示の工夫や、制作過程や背景を紹介するギャラリートークなどの開催</li> <li>2. 地域で活躍する創作作家に賛助を呼び掛け作品の出品を依頼する。</li> <li>3. 参加者や観客が作品に触れたり、参加したりできる作品を用意する。</li> <li>4. 市内の高等学校に作品の展示及び、会場の演出などの協力を依頼する。</li> <li>5. ワークショップを企画する。</li> <li>6. フェスティバルに市民バンドや中・高等学校音楽クラブ等に出演を依頼し、音楽と作品がつくる文化空間を演出したい。</li> </ol>				
⑥	事業効果	<p>以上のような内容で構成されるアートフェスティバルは、地域の文化や伝統を表現するだけでなく、新しい形で表現された文化や芸術を若い世代に伝えることができます。</p> <p>地域の魅力を高め、交流人口を増やし、地域を活性化させることが期待できます。</p> <p>一方、アート活動における想像力を育成することは、他者を理解し自分を表現する力を培うことにつながります。アートで魅力ある町づくりや地域を活性化させます。</p>				
⑦	事業の特色	<p>美術鑑賞には、地域住民にとって多くの意義があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展示会やイベントに参加することで、地域の文化や歴史を知ることができます。</li> <li>2. 地元のアーティストに活躍する場を提供することで、地域の芸術文化を発展させることもできます。</li> <li>3. 美術鑑賞は、人々の感性を刺激し、豊かな感性を育むことができます。</li> <li>4. 美術鑑賞を通じて、地域住民同士が交流することもできます。</li> </ol>				
⑧	今後の展開	<p>過去2回の開催の成果と反省をもとに、会員全体でアイデアを出しアートフェスティバル及び各種事業を継続します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アートフェスティバルを、会員・市民・近隣の作家など大勢が楽しく参加できるよう企画立案します。</li> <li>2. ドウジアムでの各部門による「郷土作家ギャラリー展」も引き続き実施するとともに、各地区公民館等との連携を取り、次年度は地域別作品展を準備していきたい。より身近な地域の人との文化交流を進め、地域の作家、アーティストを掘り起こしていきます。</li> <li>3. 西脇市及び文化連盟が主催する、「市展」及び「春のカルチャー市民作品展」等にも協力し、市民展を盛り上げていきます。</li> <li>4. 西脇市美術協会として、事業の案内や個人作品の発表をしていくための組織を編成します。個展やクラブ展を通しての市民交流も継続します。</li> <li>5. 新会員の掘り起こしをすすめ、活力ある町づくりに貢献し、後進の指導に当たります。</li> </ol>				

**ママのおへソスクール**  
代表 宇仁菅 千佳 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 389,000	要望額	¥ 257,000	補助対象額	¥ 389,000
③	事業名	ママのための頑張らない学校事業					
④	事業目的	核家族、コロナ後で人との繋がりが薄くなり、情報過多な現在、子育てにおいてママたちが孤立している。子育て中のママたちの居場所作りやヨコのつながりの構築、情報に左右されない子育て環境、学びの場を構築する。 専門的な知識をもった先輩や講師を招き、共有することで、情報にとらわれない子育て、頑張らない子育てをサポートすることを目的とする。					
⑤	事業内容	市内外のママたちを対象に、西脇市の施設（主にミライエ）で毎月1回の開催を行う。取り分けできる離乳食の作り方や、ママの体の使い方子どもの足育や収納講座など、専門分野の講師を招いて学ぶ場を提供する。 また、簡単な調理実習も行い、飲食しながら情報共有をすることで児童館などのプログラムとの差別化を狙う。差別化ポイントの一例としては、少人数で意見が通りやすいので、ママからのリクエストやアンケート結果をすぐに反映して次回の授業に取り入れることができる。					
⑥	事業効果	インターネットや本などの情報過多により、自分に合った情報が選別しにくい現在、育児経験者から失敗も含め実践内容や情報をゆっくり共有できる時間をもつことができる。 ヨコ（ママ同士）やタテ（先輩ママたち）のつながりを構築し、子育てに対する不安の軽減、息抜き、頑張らない子育てを共有する。					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座と調理実習、試食、片付けまでがスクールスケジュールになっているので、自然とみんなが声をかけ合いながら協力できる時間になる。</li> <li>・ 講座の後、調理した料理の飲食時間があり、子ども達の空腹によるグズリを軽減でき、子連れで参加しやすい。</li> <li>・ 飲食の時間に、講座中に質問できなかったことを解消でき、なかなか話すことのないママたちと情報共有するので、子育ての不安が軽減できる。</li> <li>・ 調理実習では難易度が高い食材を使用せず、とりわけできる離乳食や簡単に手に入り調理できる料理や調味料を紹介するので、その後の家事の負担も軽減できる。</li> </ul>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23年度の利用11回開催で120名の親子の参加があった。参加者比率で60%は、三田、滝野、小野、多可など遠方であった。逆にいえば、西脇市内の参加者が少なかった。西脇市在住者優先で募集をかけるなど、市民へ向けての広報の方法を再検討する。（現在は、インスタ、チャットなどSNSを通して呼びかけしている。）</li> <li>・ 現在は毎回参加費を徴収しているが、体調不良による急なキャンセルもあり、親子事業は事業資金繰りが非常に難しい。将来的に参加費と協賛企業を募り事業として計画的に継続できるようにしたい。</li> </ul>					

**Hot Spot 実行委員**  
**代表 岡崎 敦 (会員5名)**

①	事業種類	対象地域	市内外全域		実施期間	6.6.10 ~ 6.12.1	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 432,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 377,000
③	事業名	Hot Spot事業					
④	事業目的	西脇を広くアピールし、みんなで盛り上げ元気にする。特に若者が中心となるような文化を取り入れる。流行の飲食店やショップ、アーティストなどあらゆる角度から様々なものに触れて若者が楽しめるマルシェをつくり、参加者の交流と集客に繋げる。 市内の飲食店、ショップ (coffee&bar POT/バーガーレイジー/串万/すぎや/四鶴/QYC/kukka/Love's gallery) 音楽(シンガー/アコースティックライブ/DJ)・ダンス(ヒップホップ/ジャズ/キッズダンス)・アート(ライブペイント)・スケートボード(特設ミランプ設置)など、市内外の出店者は約20店舗。					
⑤	事業内容	〔対象〕北播磨圏内の若者男女(子供も含む。) 〔いつ〕令和6年10月6日(日) 〔どこで〕北はりまエコミュージアム 〔内容〕同上(事業目的に記載)					
⑥	事業効果	〔効果〕参加者と出店者・演者様との繋がりをつくる事で事業以外で西脇市へ遊びに来てもらう機会が増える。 子供達に将来の夢や希望を与える事が出来れば、西脇の発展に繋がる。 事業を通して新たに地域の魅力を伝える。 人と人との繋がりがポイント 音楽、ファッション、ダンス、スケートボードに興味がある若者が増加している中、それを表現できるきっかけのイベントになればと思っている。					
⑦	事業の特色	食から音楽・アート・ダンス・スケートボードまで一堂に集まったイベントは市内では見かけない。 特に若者が中心になる事によって、若いエネルギーと西脇の将来を担う土台作りをしていく。					
⑧	今後の展開	事業最後の活動となります。 同じく北はりまエコミュージアムにて開催予定。 来年度は日本のへそ公園でイベント開催を予定。 毎年開催の恒例行事にしていきたいです。					

**自然探索グループ**  
代表 廣田 昭治 (会員16名)

①	事業種類	対象地域	市内全域及び多可町	実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 158,000	要望額	¥ 150,000	補助対象額 ¥ 158,000
③	事業名	希少蝶の保護『蝶の庭』活動事業				
④	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西脇・多可の自然を探索し、蝶の生態・生息状況を地域に発信する。</li> <li>・ 希少蝶（ギフチョウ）が生息できる環境・保護を考えるきっかけにする。</li> <li>・ 市民が身近な蝶とふれ合い、生き物や自然に親しみ豊かな心を育む。</li> </ul>				
⑤	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇へそ公園地球科学館テラ・ドーム前の花壇『蝶の庭』を整備</li> <li>・ 定期的に花壇整備（植替え・灌水・草刈り等）</li> <li>・ テラ・ドーム見学・学習をする子どもや、公園散策を楽しむ市民が蝶に親しめる花壇整備</li> <li>・ アサギマダラ飛来の環境整備（フジバカマ）</li> <li>・ ジャコウアゲハ生育環境整備（ウマノスズクサ）</li> <li>・ 「蝶の庭」観察会 5/5（こどもの日）</li> <li>◇学校支援〈出前授業〉小3理科「蝶を育てよう」</li> <li>◇ギフチョウの生息調査</li> <li>・ カンアオイ自生地と卵調査 幼虫飼育・蛹の管理→放蝶</li> <li>◇講演会 5/26（日）於：Miraie多目的ホール</li> <li>・ 『ギフチョウの置かれている現状』</li> <li>・ ギフチョウ写真展</li> <li>◇蝶の観察写真展</li> <li>・ 11月 於：くろっこプラザ あつまっ亭 （学校からの要請があれば学校開催も可）</li> <li>◇ニホンミツバチの飼育・観察</li> </ul>				
⑥	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年秋、へそ公園テラ・ドーム前の空き地に『蝶の庭』造園作業を開始。継続した活動により、4年目に入った今年は、季節の草花がつつぎ花壇を彩り、テラ・ドームを訪れる人や公園を散策する方々に楽しまれている。また、ギフチョウ、ジャコウアゲハ、ベニシジミ等様々な蝶が観察できた。</li> <li>・ 学校支援ボランティア 小3理科「蝶の飼育」出前授業。チョウとの触れ合い授業に子ども達の興味・関心が高まる。</li> <li>・ 5/5（こどもの日）には、蝶の庭「観察会」を催し、親子で蝶の観察。ボランティアスタッフが蝶の説明。100名超えの参加が蝶について考えるきっかけとなった。</li> <li>・ 蝶の観察写真展〈今年度は黒田庄で開催予定〉</li> <li>・ 西脇・多可に生息する蝶。見学者は身近な蝶の名を知り、親しみや関心を寄せていただいている。</li> <li>・ 5/26講演会では、100名以上の参加者にギフチョウの現状を伝え、理解が深まった。また、地域と連携して行う環境保全について考えるきっかけとなった。</li> </ul>				
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蝶が飛び交う『蝶の庭』整備</li> <li>公園を訪れる人々が蝶に親しみ、憩い・やすらぎの場にする。四季を通し花が咲く庭づくり</li> <li>・ 旅する蝶「アサギマダラ」が飛来する環境 *フジバカマの栽培</li> <li>・ 岡之山に準絶滅危惧種「ギフチョウ」を呼び戻す取り組み *食草カンアオイの定植</li> <li>・ 学校支援出前授業 小3理科「蝶の飼育」</li> <li>・ 蝶の観察写真展 *要請に応じ学校での展示も行う</li> </ul>				
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『蝶の庭』整備</li> <li>空き地に造園した花壇のため花づくりは適さなかった。そこで、草花の生育に適した土壌の改良を検討し、季節の花がしっかり生育する花壇づくりに努めてきた。今後も継続した取り組みを進める。</li> <li>・ 蝶の生態・保護についての研修を深め地域に発信する。</li> <li>◇市内各所での観察写真展（今年度は黒田庄）</li> <li>◇市内の研究グループとの交流</li> <li>◇専門講師を招聘した講演会を行う</li> <li>◇ギフチョウ保護について、他市との取り組み交流</li> <li>・ ニホンミツバチの生育環境調査・飼育・観察</li> <li>◇蝶・ニホンミツバチから生物多様性や自然環境保護を考えるきっかけづくり</li> </ul>				

# 猫の会

代表 梅原 法子 (会員10名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算 / 要望額 / 補助対象額	予算	¥ 210,000	要望額	¥ 210,000	補助対象額	¥ 210,000
③	事業名	野良猫の減少と里親に繋げる保護猫事業					
④	事業目的	西脇市内では、飼い主の誤った飼い方等が原因による野良猫の環境問題や住民間のトラブルなどがあり、この状態を放置すると猫の個体数は増え問題はより深くなります。そこで、管理されない野良猫の減少を目指す活動に取り組むことで、地域の環境改善を目指し、地域コミュニティの友好を図ることを目的とします。					
⑤	事業内容	猫は年に2~4回発情期があり、1回に4~8頭の子猫を生み、1頭の猫が1年後に20頭以上になります。また、「野良猫にエサをやらない」だけでは問題は改善しません。そのため、飼い主のマナーや餌を与える場合のルールなど、地域における野良猫に対する啓発活動を行っていきます。具体的には、講演会を2回実施予定です。 ・10月頃に「野良猫のトラブルのない地域社会をめざして」 ・1月頃に「地域猫活動ってなんだろう？」 をテーマとした講演会を実施予定です。 野良猫を減らし、地域の環境改善と猫を通じた地域コミュニティの広がりが期待されます。					
⑥	事業効果	野良猫を減らし、地域の環境改善と猫を通じた地域コミュニティの広がりが期待されます。					
⑦	事業の特色	地域における野良猫に対する扱いの理解が進み、猫にエサをあげる人と苦情を訴える人との関係改善を図り、地域コミュニティの融和を図ります。					
⑧	今後の展開	1. 管理されない野良猫などを里親に繋げる保護猫活動に取り組みます。 2. 野良猫や自宅で管理できなくなった猫に関する相談活動を行います。 3. 地域の理解や合意が得られた場合は、動物愛護や環境改善の観点から、全国的にも取り組まれているTNR活動（つかまえる、不妊手術する、元の場所に戻す）に取り組みます					

ミモザのたね

代表 後藤 美子 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 320,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 320,000
③	事業名	ゆずりっこ事業					
④	事業目的	譲り合う心を大切に、子育てしやすい街づくりを目指し、家計にも地球にも優しく、子育て世代の親子同士がつながり合える仕組みを創ることを目的とする。					
⑤	事業内容	学童品、制服、子ども服などの幅広い年齢の子ども用品を、期間を設けて収集BOXを設置し、集まったお下がりのリユース会「ゆずりっこ」を不定期で開催している (今年度の開催予定は7月、10月、12月、3月) 活動を継続できるよう、子どもが楽しめる縁日(お菓子吊り等)を開催し、協力金を集めることを予定している。					
⑥	事業効果	物価上昇の中、リユース会を開催することで、家計の負担も減り、ごみの削減にもつながり、市民ひとりひとりがSDGSの取り組みに携わることができるのではないかと、また、参加者から子育ての悩みなど聞く機会がありスタッフの子育て経験が役に立つことがあった。この活動により、地域のつながりも芽生え、孤立した子育てにならない手だけができていと実感した。					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな世代の方も気軽に参加でき、無料で持ち帰ることができるのが何よりの魅力。</li> <li>・参加者の中からは「次回は自宅の不用品を収集BOXへ持参します」とお声かけがあり、モノの循環ができていと実感。</li> <li>・また、市外からの参加も多いことから、西脇市のPRIにもなっている。</li> </ul>					
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なリユース会の開催を続け、周知してもらうことでモノの循環が当たり前の世界を目指す</li> <li>・リユース会だけでなく、人とのつながりができるようなイベントを開催したい</li> <li>・募金(協力金)箱の設置も考え、活動を継続できるように努力する</li> <li>・収集品の保管場所を確保したい</li> </ul>					

## IWA兵庫ポニー

代表 浅香 健一 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	6.4.1 ~ 7.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 462,605	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 462,605
③	事業名	西脇中学硬式野球の環境づくり事業					
④	事業目的	<p>中学硬式野球の指導、交流試合の実施等を通じて参加する子どもたちの自己実現につなげ、同じ目標を共有しながら切磋琢磨し、学校、学年などを越えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成につなげる。</p> <p>また、子どもたちが「野球のまち西脇」において硬式野球に触れるきっかけをつくり、未来の活躍に向けて人材育成を行うとともに、今後進んでいくクラブ活動の地域移行についての地域での受け皿の一つとして環境を整え、地域のスポーツ文化を継続的に活性化し、スポーツによるまちづくりの一つとして硬式野球を定着させ、地域の活性化につなげていく。</p>					
⑤	事業内容	<p>月10回程度、市内の野球場（黒田庄ふれあいスタジアム、西脇公園野球場等）等において練習を行い、子どもたちそれぞれの身体特性等のデータを分析した上で指導に生かし、硬式野球の正しい知識、技術、礼儀などを身に付ける。市内の野球場については予約が取れないことも多いため、簡易な練習ができるグラウンドを自分たちの手で整備し、野球場が使用できなくても硬式野球が実施できる環境を作り、使用しないときは開放する。</p> <p>また、子どもたちが夢や希望を持って好きなことに向き合い、目標を持ってもらうため、侍ジャパン（野球日本代表）にも選抜された御綿氏をお迎えした野球教室等を行い、広く参加を呼びかける。</p> <p>あわせて、日頃の練習の成果を披露するとともに同じ競技で切磋琢磨する仲間たちとの交流を図るため、広く市内外に呼びかけ野球大会（交流試合）を開催し、子どもたちの交流、仲間づくりを進めるとともに「野球のまち西脇」をアピールする。</p>					
⑥	事業効果	<p>小児化・人口減少が進む中で、子どもが多くの人と触れ合える交流行事は少なくなっている。そのような中で希望する子どもたちが新たなコミュニティで硬式野球を通じて交流を深め、自己実現につなげながら団体競技をともに作り上げていく環境で仲間をつくることで、青少年の健全育成につなげることができる。</p> <p>また、クラブ活動の地域移行が進んでいく中で、一つの地域の受け皿として硬式野球ができる環境を整えていくことで、これからを担う次世代の人材育成や、地域のスポーツ文化の活性化につなげることができ、ひいては地域コミュニティ全体の活性化につながるなどの効果が期待できる。</p>					
⑦	事業の特色	<p>西脇市においてはこれまで13人のプロ野球選手を輩出するなど「野球のまち西脇」として盛んに野球競技が行われてきた。しかしながら、西脇市には通年的に中学硬式野球に親しみ、学ぶような団体は現在活動していない。そこで、硬式野球を学びたい、また親しみたい中学生たちのために通年的な活動を行い、西脇市の中学生が西脇市で硬式野球に親しみ礎となる活動を進めたい。</p>					
⑧	今後の展開	<p>スポーツは、青少年の心身の健全な発達に好影響をもたらすと考える。そのため本事業を継続して実施することにより子どもたちがスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげたい。</p> <p>また、クラブ活動の地域移行を見据えて指導者や運営者の育成などにもつなげ、中学硬式野球を通じた新たなコミュニティを作り上げていく。</p> <p>あわせて、本事業活動を広く発信することを通じ、「野球のまち西脇」を広くアピールし、地域の活性化につなげる活動を進めていきたい。</p>					